

農林水産省 本省発注予定業務事前説明会

令和7年1月30日（木曜日） 13：30～

【令和 7 年度発注予定業務 事前説明会資料】

案 件 番 号： 1

調達案件名：「令和 7 年度林野庁情報誌「林野」の編集・版下製作
及びウェブサイト整備業務」

林野庁ホームページ

林野庁

Englishキッズサイトサイトマップ文字サイズ標準大きく



林野庁について

お知らせ

政策について

申請・お問い合わせ

国有林野情報

逆引き事典から探す

キーワードから探す

Google 提供

検索

注目情報

注目情報一覧

令和6年能登半島地震に関する情報

令和7年度林野庁予算概算決定の概要

パプコメ結果：クリーンウッド法に基づく告示

令和6年度林野関係補正予算

新たな建築物木材利用促進協定（鹿島建設株式会社、株式会社かたばみ）New

クリーンウッド法の見直し

森林環境譲与税の取組が進んでいます

森林由来J-クレジットのハンドブック

林野関係災害関連情報

保安林ポータル

農林水産省全体の情報はこちら

モクレボ(1月16日更新)

～林産物に関するマンスリーレポート～

「林野庁図書館ニュース」

サザエさん一家

「森林の環境援助」活動記録



情報誌「林野」
特集：森林環境譲与税

バックナンバーはこちら
情報誌 林野 特別号（お山ん画総集編）

映像ライブラリ >

マンガで森林を学ぶ >

情報誌「林野」のページ

林野庁

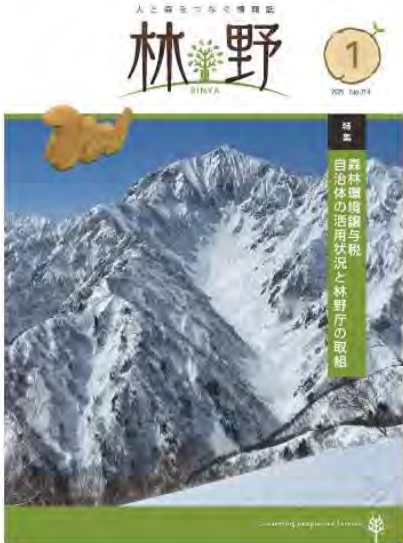
English キッズサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す キーワードから探す Google 提供 検索

林野庁について お知らせ 政策について 申請・お問い合わせ 国有林野情報

ホーム > 各種広報コンテンツ > 情報誌「林野」 > 情報誌「林野」令和7年1月号

情報誌「林野」 令和7年1月号



- ❖ 目次・読者のみなさまからのご感想(PDF: 1,613KB) 
- ❖ 年頭所感 林野庁長官 青山 豊久(PDF: 1,046KB) 
- ❖ 森林環境譲与税 自治体の活用状況と林野庁の取組(PDF: 3,810KB) 
- ❖ ウッドデザイン賞2024 最優秀賞等が決定!(PDF: 1,192KB) 
- ❖ 令和7年度予算概算決定及び令和6年度補正予算の概要(PDF: 1,245KB) 
- ❖ 「森林サービス産業」による山村振興(PDF: 2,771KB) 
- ❖ 新しい林業(PDF: 2,699KB) 
- ❖ 国有林野事業の取組(PDF: 2,693KB) 
- ❖ みどりの大使が行く!(PDF: 3,275KB) 
- ❖ 令和6年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者紹介(PDF: 1,859KB) 

1月号アンケートにご協力をお願いします! 

- ❖ 一括ダウンロードはこちら(PDF: 15,959KB)  表紙含む
- ❖ バックナンバーはこちら



シリーズ「森林サービス産業」による山村振興

林野庁では、山村に呼び込むため、森のプログラムが企業経営にもたらす価値に注目し、企業の方々に森林サービス産業の活用を呼びかけています。本シリーズの最終回となる今回は、企業での実際の活用事例を紹介しします。

同期社員の絆の醸成や心の健康づくりへの
森のプログラムの活用

TDKラムダ株式会社では、長野県信濃町で実施している若年層研修（新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、2年次研修、3年次研修、6年次研修、エルダー研修）で、しなの市Wood'sがCommunityのコーディネーターによる森のプロプログラムを活用しています。

研修の目的

第一の目的は、同期社員との絆の醸成です。協働作業を通じて同期の絆はグッと深まりますし、森の中という非日常的な環境での体験、達成感の共有は、連帯感を強めると思っています。

第二の目的は、心の健康づくりです。森林セラピーとは、トレーナーの方から森の力、効果をお教えしているというよりも、実際に森を感じ、心身のバランスを整える時間になります。そして新入社員研修からずっと同じトレーナーの皆さんがいつも通っていてくださるので、会社の雰囲気ではない第三者のトレーナーの皆さんのサポートや見守りも大きな意味があると感じています。

研修の内容

研修の目的に応じて、社員をフィールドとしたオプジェの作成。森林セラピー、森林整備、様々な課題を協力し合いながらクリアしていく(「ローエリメント」などを行っている)。毎年新入社員研修では同期の記念の「オプジェ」を作成して森に設置しています。

研修の効果

[illegible]

社有林に設置するオブジェの作成



ローエレメントの算術



森林セラピーでのリフレッシュ

建設業におけるサステナビリティ人材の育成に 森のプログラムを活用

大塚建設株式会社（以下「大塚建設」）は、1873年の創業以来、建築や土木を核とする国内外のプロジェクトを手掛けてきた総合建設会社です。「人がいざいざとする環境を創造する」をグループ理念として、社員研修に資するプログラムを運用しています。

研修の項目

大成建設は、自社の環境目標「AST 2025 Target 2050」に向けて、森林資源の活用及び森林保護の観点から、木材の取組と、山梨県・長野県及びNPO法人「自然環境保全会」の協力を得て、グリーンリサイクル推進期間である2025年3月31日までに、自社の建設現場に限り、木材の取組を令和元年4月1日より開始した。この取組は、木材の取組の観点として、環境保全に資する木材を調達するための取組を指し、木材の取組と、この取組から、グリーンリサイクル事業に関する理解を得ることと、グリーンビルディングを目的としています。

研修の内容

副修は、小菅村役場やNPO法人多摩環境
こすげの協力を仰ぎ、事務1年次の社員研修
と全社員を対象とした公認型研修を実施して
います。

現地研修では、地元住民に指導を受けなが
らうさび田の石積みと修繕、村内の沼澤復原



3者によるグリーンインフラ推進に関する連携協定ロゴ



新刊・雑誌情報



令和6年度 山村と企業をつなぐフォーラム

林野庁では、「森林サービス産業」を展開する山村地域と森のプログラムの活用に関心がある企業等をつなぐフォーラムを開催します。

日時：令和7年2月7日(金曜日) 13時～17時
場所：木材会館7階大ホール(東京都江東区新木場1-18-8)

※オンライン併用

詳細や参加申込方法は、

こちらをご覧ください。

申込期限：1月31日(金)



森野守る結露網の設置

大成建設株式会社

社会的課題を実感できた」等の声があり、効果を感じています。

今後も小菅村との連携を深めながら、社内の人材育成の枠組みを広げつつ、インターン向けに研修といった人材獲得に向けても取組を広げていきたいと考えています。

という回答は9割以上となりました。参加者からは、「豊かな自然に恵まれた源流域の開放的な環境の中で、社員同士の交流が促進された」、「地域住民との交流することで、都市部の暮らしでは感じることができない山村等の

研修の効果

で利用するボイラー用の薪割り・運搬、森を守る防鹿柵の設置、林道の整備等を体験するプログラムを一日で実施しています。

参考「aff」のページ (HTML)

農林水産省

English | 子どもページ | サイトマップ | 文字サイズ | 標準 | 大きく

こよみを知る

72 Seasons The Water Dropwort Flourishes 67

芹乃榮

せりすなわらさかう
くらしのこよみ

『新本草』(豊原重江画 石川湛立工業高等学校蔵)より
「春の七草」

会見・報道・広報 | 政策情報 | 統計情報 | 申請・お問い合わせ | 農林水産省について

逆引き事典から探す | 組織別から探す | キーワードから探す | Google 提供 | 検索

注目情報

注目情報一覧

- 江藤農林水産大臣からの新年の御挨拶
- 米の流通状況について
- 【警戒】アフリカ豚熱
- 令和6年能登半島地震に関する情報
- 令和7年度農林水産予算概算決定の概要 **New**
- 公共事業の箇所別予算額（令和6年度第1次補正）
- 農林水産省を装った不審メールにご注意を

1月7日 江藤農林水産大臣記者会見

動画を見る > | 写真を見る >

Webマガジンaff (あふ)

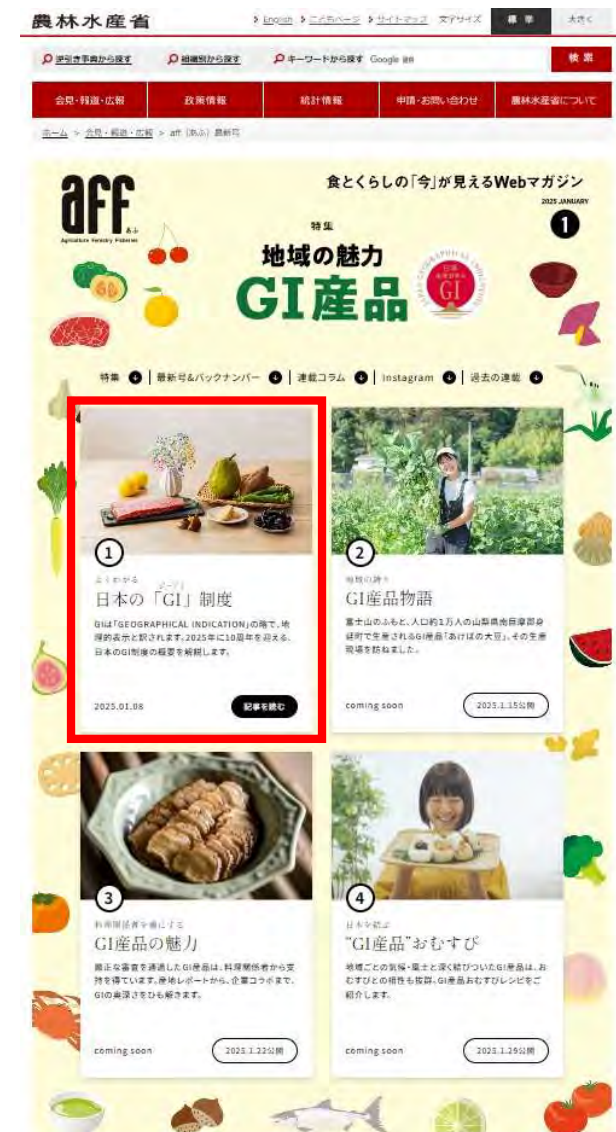
2025年1月号
地域の魅力 GI産品

最新号を見る > | 過去号を見る >

参考「aff」のページ (PDF)



参考「aff」のページ (HTML)



参考「aff」のページ (PDF)



参考「aff」のページ (HTML)



参考「aff」のページ（HTML）



そもそもGIって、何？

店頭で、富士山がデザインされた丸いマークを見かけたことがありますか？
それが、「GIマーク」。特定の地域で一定のルールを守って生産された製品の証です。
私たちの暮らしにどのようなよい影響があるのか、具体的にみていきましょう。



名称の不正使用、模倣品、ダメ絶対！

生産者

ブランド価値が守られ
生産者もうれしい

特定の地域で育まれてきた、地域ならではの特性を持つ製品の名称を保護。
GI登録された名称の不正使用や模倣品は、国が取り締まります。

本物と保証され消費者もうれしい

名称とともに、製品の特性や、特性を確保するための生産方法も登録。産品が、そのとおり生産されているか、国が定期的に確認しています。



国が認めた
本物の証！

消費者

GI制度の大枠と効果

制度の大枠	効果
地域ならではの環境で長年育まれてきた特色ある産品が登録できます。	地域共有の財産として、産品の名称が保護されます。
産品の名称を生産地や品質等の基準とともに登録します。	登録された基準を満たす産品のみが地理的表示を使えます。

登録された産品には、「地理的表示」と

GI登録された名称を使っているのは本



「GIマーク」が使用できます。
※GIマークが付いていない商品もあります。



物だけです。また、GIマークを使うことで、他産品とひと目で区別できます。



地理的表示の不正使用は行政が取り締まります。



新顧客の獲得なく、自らのブランド価値を守ることになります。

生産者と消費者の両方がうれしい

生産者は、不正使用や模倣品などへの不安や取締りの負担がなく、安心して生産に専念できます。
消費者は、GIマークによってその産品の特性や品質がひと目でわかるようになります。

インフォグラフィックスで楽しむ

GIの知られざる一面

GIのある生活

暮らしの周囲を見渡してみよう。すでにたくさんのGI産品に囲まれているかもしれません。

えらぶゆり

ちんすこう

深蒸し菊川茶

桜島小みかん

くまもと県産い草畳表

全国で
148産品
登録

JGIC（※）サイトやふるさと納税サイトからチェック

GI登録産品の割合

GI産品にはどんなものが登録されているのでしょうか。
その他には食品以外の花やい草などが含まれています。

野菜／穀物類	果物	魚介類
40%	14%	9%

加工食品	食肉	その他
20%	11%	6%

出典：日本地理的表示保護協会（JGIC）サイト、2024年11月発表

GI生産地ランキング

GI登録産品の数は、熊本県が第1位。現在43都道府県と、GI登録産品の産地は全国に広がっています。

1

熊本県

9品

くまもと県産い草、八代産茶 など

2

北海道

8品

夕張メロン、今金栗しやく など

3

青森県

7品

2

岩手県

8品

宮城県産 甲子猪 など

6品

福島県

5品

秋田県

5品

山形県

5品

茨城県

5品

福井県

5品

兵庫県

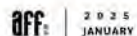
5品

鳥取県

7品

鹿児島県

出典：日本地理的表示保護協会（JGIC）サイト、2024年11月発表



林業イノベーションハブ構築事業

【令和7年度予算概算決定額 39,000（39,000）千円】

<対策のポイント>

林業の安全性と生産性の飛躍的向上に必要な新技術の開発と現場実装を加速化するため、異分野企業等が参画するプラットフォームの構築・運営、林業のデジタル化に取り組む地域への伴走支援、自動化・遠隔操作化技術の安全対策ルールづくり等を実施します。

林業イノベーションハブセンター（森ハブ）

調査・方策検討

- 国の技術開発方針等の検討に活用するため、先進技術等を調査
- 有識者委員会において、イノベーションを推進するための方策を検討

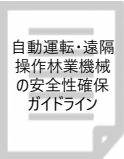
新技術導入環境整備

- 自動化・遠隔操作化技術の安全性について、検討会を設置し、ルールづくりを実施

（自動運転技術の例）

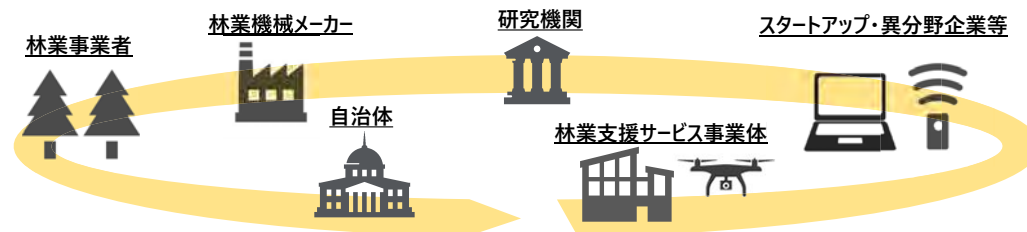


（成果のイメージ）



森ハブ・プラットフォーム構築・運営

- 林業事業者や林業機械メーカーに、スタートアップ・異分野企業等の新たなプレイヤーを加え、相互の交流を推進するイベント等を実施

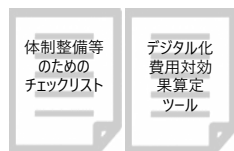


林業のデジタル化の伴走支援

- 林業のデジタル化に取り組む地域に対して、コーディネーター派遣等による伴走支援を実施
- 先進地域の取組成果を活用し、他地域への横展開に必要な伴走支援ツールを充実



（伴走支援ツールの例）



（地域における取組の進展のイメージ）

フェーズ①	地域コンソーシアムの形成と課題の明確化
フェーズ②	複数事業者・工程の連携による実証プロジェクト
フェーズ③	地域が一体となったデジタル林業の自律的展開

- 林業現場の課題を共有し、各プレイヤーの強み・希望する協業先等の情報を交換

→ 異なる強み・技術を有する者が協業し、新たな製品・サービスの実用化を加速



- 新たな製品・サービスや、それらの導入効果・改善点等の情報を交換

→ 新技術の改良、更なる普及を加速し、林業現場の課題を解決



<事業の流れ> 国 委託 民間団体等

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課技術開発推進室（03-3501-5025）